学校番号	３０７

令和８年度　スポルト科

教科	スポルト	科目	トレーニング原理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１学期は、体の使い方やボールの操作など、各種目における基本的な動作をしっかりと身につけ、実践に繋げます。

２・３学期は、グループに分かれて探究活動を行います。各班で運動・スポーツにおけるテーマを決め、実験やアンケート調査などで探究し、発表を行い、これからの社会に必要なプレゼン力の向上をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

専門種目の多様な意義や運動・スポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、運動・スポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】

運動・スポーツの推進及び発展に必要となる自他や社会の課題を発見し、思考、判断するとともに、他者に伝える力を養おうとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯を通して運動・スポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実践的な練習において，基本的動作や基本技能について振り返ることができる。 また、端末の操作や発表においての立ち居振る舞いなど基本的な知識やスキルを身につけ，理解を深めることができる。	専門種目についての理解を深め，実践力に繋げることができる。 また、健康や運動・スポーツに関する様々な分野に目を向け，テーマ決定ができる。	健康や運動・スポーツに関する様々な分野において，主体性を持ち，積極的に取り組むことができる。 また、周囲への配慮やリーダーシップをとることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1・2学期	基礎的実践	オリエンテーション 基礎的実践 (硬式野球・ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ)	a:実践的な練習において、基本的動作や基本技能について振り返る。 b:専門種目についての理解を深め、実践力に繋げることができる。 c:健康や運動・スポーツに関する様々な分野において主体性を持ち、積極的に取り組むことができる。 また、周囲への配慮やリーダーシップをとることができる。	技能観察	受講態度の観察	受講態度の観察 ノート レポート など
	発展的実践	探究オリエンテーション 発展的実践 (硬式野球・ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ) グループ分け、テーマ決め	a:端末の操作や発表においての立ち居振る舞いなど基本的な知識やスキルを身につけ、理解を深めることができる。 b:健康や運動・スポーツに関する様々な分野に目を向け、テーマ決定ができる。 c:健康や運動・スポーツに関する様々な分野において主体性を持ち、積極的に取り組むことができる。	技能観察	受講態度の観察	受講態度の観察 ノート レポート など

3学期	総合的実践	総合的実践 （硬式野球・ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ ） 探究発表	a:端末の操作や発表においての立ち居振る舞いなど基本的な知識やスキルを身につけ、理解を深めることができる。 b:健康や運動・スポーツに関する様々な分野に目を向け、テーマ決定ができる。 c:健康や運動・スポーツに関する様々な分野において主体性を持ち、積極的に取り組むことができる。	技能観察	受講態度の観察	受講態度の観察 ノート レポート など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度